

## マネジメントシステムで意識改革 社員自ら安全衛生活動を推進

公共工事成績の安全対策において、常時高得点の評価を得る安岡建設株式会社。従来から漫然と行っていた安全衛生活動をシステム化し、恒常化を図ったことで長期の無災害記録達成を実現した。同社の取り組み事例とノウハウを紹介する。

安岡建設株式会社・沖縄県

### 作業員一人一人を把握し、現場管理に活用

沖縄・那覇市の本社と南城市、南風原町、与那原町に営業所を置く安岡建設（株）は、従業員数は18名だが、常時6カ所～8カ所の工事現場を受け持ち、下請の協力業者社員を合わせると、常に約50名の労働者が働く。建設現場はさまざまな作業が錯綜するため、災害発生率が高く、事業所における実効性の高い安全衛生対策が求められる。同社は平成24年4月にOHSAS18001（労働安全マネジメントシステム）を取得し、安全衛生活動の実効性を高めた。創業から31年間、無事故・無災害で、過去5年の累計無災害時間は16,320時間を超える。

まず、安全衛生活動は本社、営業所の活動は、「店社」と個々の建設現場（以下・作業所）がそれぞれ実施している。作業所では、店社と協力業者の委員らが構成する「安全衛生委員会」が管理する（図1）。作業前には朝礼時のTBM、安全ミーティングによるKY活動、点検など安全確認を実施。作業中は職長による巡視・指導・監督に加え、安全工程を確認して災害を防止する。作業終了後には安全に留意して後片付けを行い、次の日に備えて終業時確認を実施する。これらの活動をサイクルフロー形式（図2）で行い、前日の反省点を翌日の作業へ反映している。毎日繰り返すことで、日常作業に潜む危険を予知する。

また、新たに入場する「新規入場者」には、事業所単位で工事概要や安全活動計画等を教える「送り出し教育」が行われるが、新規入場者は危険予知がしにくく、作業指示が伝わりにくいので、作業所でも個別に教育指導を行う。その際、「新規入場者教育確認書」

店社安全パトロール



社内安全パトロール



第三者安全指導者による安全パトロール



協力業者による安全パトロール



(図3)を使用して所属や連絡先、職種、健康状況、資格の保持など、作業員1人ひとりの状態を把握する。多種多様な作業員が従事するため、現場管理の上で重要なデータとなる。

## 「作業員の安全が最優先」元請・下請を超えた連携づくり

一方、会社では店社安全衛生体制表に基づき安全衛生活動が行われる(図4)。全現場の職長が収支や工程についての報告を行う月報会議では、ミーティング前にDVD等の視聴覚資料を活用した安全教育が行われる。年末・年度末の繁忙期には転落・墜落災害の防止が、夏季には熱中症対策などが選ばれ、同じDVDを何度も使用するのではなく、ネット上のフリー動画も活用する。端末があればどこでもネット上の資料を視聴できるので便利だ。

月末には店社安全パトロールを実施する。社長を筆頭に店社の安全衛生管理者と安全衛生委員会の委員、各現場の職長らが参加する。全ての現場を巡回して、リアルタイムに意見交換を行っていく。特に、各現場の職長は他の現場と自分が担当する現場を比べることができ、即座に対策もとれるので、全員が積極的に参加しているという。

また、月例で役員らの抜き打ち形式の視察も行われている。ほかにも、先述の安全衛生委員会が月例でミーティングを開き、同社の社長と協力業者の社長を交えて意見交換を行い、合同パトロールも実施している。

委員会は5年前に創設されたが、両社社長が労働災害防止に乗り出したのは1年前。OHSAS導入にあたり委員会の実効性を高めるため社長自身が発案した。「双方の社員を災害から守る」との高い意識が、元請・下請という概念を超えた信頼関係をつくり出している。

ほかに、社外（第三者安全指導者）による安全パトロールを年2回、協力業者による安全パトロールを年数回実施している。身内だけのパトロールでは甘くなるため、第三者を交えてパトロール体制を強化し、現場の死角をなくした（写真参照）。

図1:作業所安全衛生体制表(安全衛生委員会)

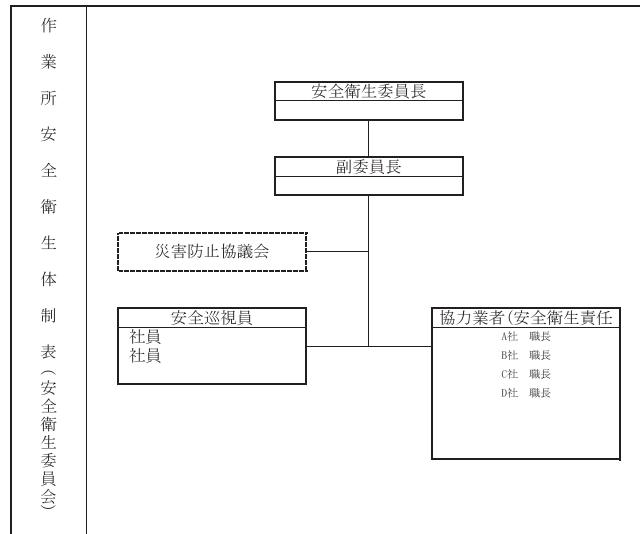


図2:安全施工サイクルフロー

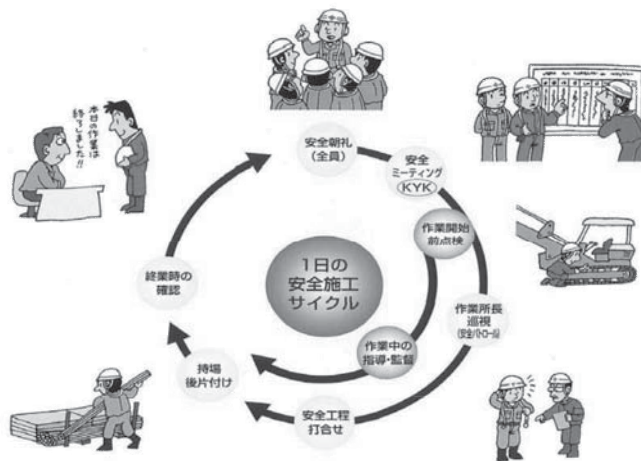


図4:店社安全衛生体制表

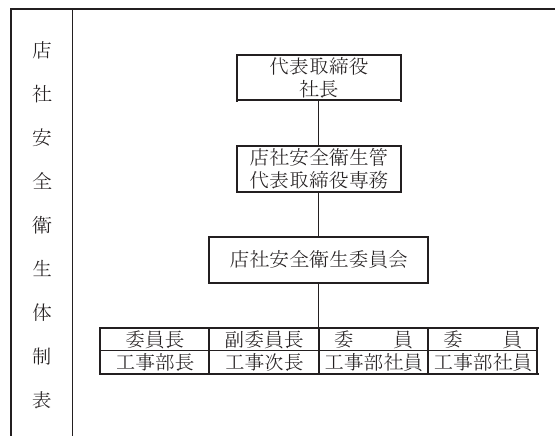


図3:新規入場者教育確認書

現場代理人	実施担当者

## 新規入場者教育確認書

事業所名： 雄樋川地区貯水池工事（23-2工区）

施 工 者： 安岡建設 株式会社

平成 年 月 日 入 場

ふりがな		所属会社	賃金をもらっている会社
氏 名	<input type="checkbox"/> 男		
生年月日	昭・平 年 月 日 才	所属会社 電話番号	TEL:
現住所		職 長 名 (班長名)	
電話又は 携帯番号	TEL:	職 種	①普通作業員 ②重機オペ ③型枠工 ④鉄筋工 ⑤溶接工 ⑥運転手
緊急時の 連絡先	TEL:	現職種の 経験年数	約 年 ヶ月

私は只今、新規入場者教育をうけ、作業所の一般事項及び個人情報の利用について承諾いたしました。

その主旨の通り、職長の指示に従って安全作業に努めることを誓うと共に下記のことを報告します。

①	健康診断	(受診有り) 年 月頃	(受診無し)
	健康状態	(現在の健康状態はどうか。○印のこと) 良い・普通・悪い	
②	血液型	A・B・AB・O・ その他 ( )	
③	血圧測定	年 月頃	自己申告 測 定 最高値( ) / 最低値( )
④	この作業所で必要な資格番号に○印のこと。(資格証の写しを提出して下さい。)		
	〈免 許〉	5 ガス溶接技能者	3 研削といし取替
1	普通自動車	6 コンクリート工作物破壊作業主任者	
2	大型自動車	7 移動式クレーン(5t未満)	
3	大型特殊	8 玉掛け作業者(1t以上)	〈管 理 者 教 育〉
4	けん引	9 高所作業車	1 職長教育
5	移動式クレーン運転士	10 コンクリート工作物破壊作業主任者	2 安全衛生推進者
6		11 酸素欠乏作業主任者 一種 二種	3 危険予知リフト-訓練
	〈技 能 講 習〉	12 有機溶剤作業主任者	
1	車両系建設機械(整地・運搬)		〈そ の 他〉
2	型枠支保工組立作業主任者	〈特 別 教 育〉	1 鉄筋技能士
3	足場等組立作業主任者	1 ロー-運転	2 コンクリート圧送技能士
4	地山掘削及び土止め支保工	2 アーク溶接	